

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長野県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	長野県立病院機構	2
長野市	長野市民病院	3
松本市	松本市立病院	4
上田市	上田市立産婦人科病院	5
岡谷市	岡谷市民病院	6
飯田市	飯田市立病院	7
大町市	大町総合病院	8
佐久市	国保浅間総合病院	9
東御市	東御市民病院	10
佐久穂町	佐久穂町立千曲病院	11
軽井沢町	国保軽井沢病院	12
辰野町	辰野病院	13
信濃町	信越病院	14
飯綱町	飯綱町立飯綱病院	15
伊那中央行政組合（事業 会計分）	伊那中央病院	16
伊南行政組合	昭和伊南総合病院	17
諏訪中央病院組合	組合立諏訪中央病院	18
依田窪医療福祉事務組合	国保依田窪病院	19

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名					
病院名		長野県立病院機構			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄		ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄		救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
		地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
（1）有形固定資産		-		
（2）無形固定資産		-		
（3）投資その他の資産		-		
2 流動資産		-		
（1）現金及び預金		-		
（2）未収金及び未収収益		-		
（3）貸倒引当金（ ）		-		
（4）貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
（2）その他の企業債		-		
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
（4）その他の長期借入金		-		
（5）引当金		-		
（6）リース債務		-		
2 流動負債		-		
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
（2）その他の企業債		-		
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
（4）その他の長期借入金		-		
（5）引当金		-		
（6）リース債務		-		
（7）一時借入金		-		
（8）未払金及び未払費用		-		
（9）前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		-		
（1）長期前受金		-		
（2）長期前受金収益化累計額（ ）		-		
（3）繰延運営権対価		-		
（4）繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-		
（5）運営権者更新投資		-		
（6）運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
（1）資本剰余金		-		
（2）利益剰余金		-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	136,349			
1 経常収益	136,349			
（1）医業収益	-			
（うち修正医業収益）	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	136,349			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	136,349			
2 経常費用	136,349			
（1）医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
（うち薬品費）	-	-	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
（うち委託料）	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
（2）医業外費用	136,349			
（うち支払利息）	136,349	-	0.9	0.8
（3）特別損失	-			
損益	経常損益	-		
	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名		特殊診療機能欄		ド...人間ドック		透...人工透析		I...ICU・CCU		未...NICU・未熟児室		訓...運動機能訓練室		ガ...ガン(放射線)診療		
				長野県				指定病院の状況欄		救...救急告示病院		臨...臨床研修病院		が...がん診療連携拠点病院		感...感染症指定医療機関		へ...へき地医療拠点病院		災...災害拠点病院
市町村・組合名				長野市				地...地域医療支援病院		特...特定機能病院		輪...病院群輪番制病院								
病院名				長野市民病院																
施設及び業務概況等																				
法適用区分			特殊診療機能																	
病院区分			不採算地区病院																	
建物面積		- m ²	不採算地区中核病院																	
診療科数		-	指定病院の状況																	
許可公営企業			看護配置																	
DPC対象病院		-	経営形態		指定管理者(代行制)															
			類似区分		400床以上～500床未満															

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		-		
1	固定資産	-		
	(1)有形固定資産	-		
	(2)無形固定資産	-		
	(3)投資その他の資産	-		
2	流動資産	-		
	(1)現金及び預金	-		
	(2)未収金及び未収収益	-		
	(3)貸倒引当金()	-		
	(4)貯蔵品	-		
3	繰延資産	-		
負債合計		-		
1	固定負債	-		
	(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	-		
	(2)その他の企業債	-		
	(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4)その他の長期借入金	-		
	(5)引当金	-		
	(6)リース債務	-		
2	流動負債	-		
	(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	-		
	(2)その他の企業債	-		
	(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4)その他の長期借入金	-		
	(5)引当金	-		
	(6)リース債務	-		
	(7)一時借入金	-		
	(8)未払金及び未払費用	-		
	(9)前受金及び前受収益	-		
3	繰延収益	-		
	(1)長期前受金	-		
	(2)長期前受収益化累計額()	-		
	(3)繰延運営権対価	-		
	(4)繰延運営権対価収益化累計額()	-		
	(5)運営権者更新投資	-		
	(6)運営権者更新投資収益化累計額()	-		
資本合計		-		
1	資本金	-		
2	剰余金	-		
	(1)資本剰余金	-		
	(2)利益剰余金	-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

設立団体の状況		
人口(人)	372,760	
決算規模(千円)	160,600,648	
標準財政規模(千円)	91,426,035	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(％)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	-
	実質公債費比率(％)	5.2
	将来負担比率(％)	20.6

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況		
累積欠損金比率(％)	-	
健全化法上の資金不足額(千円)	-	
健全化法上の資金不足比率(％)	-	
地財法上の資金不足額(千円)	-	
地財法上の資金不足比率(％)	-	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名

長野県

市町村・組合名

松本市

病院名

松本市立病院

施設及び業務概況等

法適用区分

条例全部

特殊診療機能

ド透未訓

病院区分

一般病院

不採算地区病院

非該当

建物面積

17,999㎡

不採算地区中核病院

非該当

診療科数

27

指定病院の状況

救臨感輪

許可公営企業

看護配置

7：1

DPC対象病院

対象

経営形態

直営

類似区分

100床以上～200床未満

特殊診療機能欄

ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン（放射線）診療

指定病院の状況欄

救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院

地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

193

80.7

70.8

72.4

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

-

-

-

-

感染症

6

31.5

3.0

12.3

計

199

79.2

68.8

70.6

平均在院日数（一般病床のみ）

18.0

15.5

13.7

設立団体の状況

人口（人）

241,145

決算規模（千円）

110,498,996

標準財政規模（千円）

60,375,899

財政力指数

0.70

経常収支比率（％）

87.8

健全化

実質赤字比率（％）

-

判断比率

連結実質赤字比率（％）

実質公債費比率（％）

3.6

将来負担比率（％）

-

損益計算書（千円・％）

区分

決算額

費用収益医業収

全国平均

類似平均

総収益

5,585,304

1 経常収益

5,585,304

(1) 医業収益

4,742,959

(うち修正医業収益)

4,638,979

入院収益

2,763,808

外来収益

1,458,768

診療収入計

4,222,576

繰延運営権対価収益

-

運営権者更新投資収益

-

その他医業収益

520,383

(うち他会計負担金)

103,980

(2) 医業外収益

842,345

(うち国・都道府県補助金)

395,436

(うち他会計補助・負担金)

248,980

(うち長期前受金戻入)

169,146

(うち資本費繰入収益)

-

(3) 特別利益

-

(うち他会計繰入金)

-

総費用

5,205,683

2 経常費用

5,205,683

(1) 医業費用

5,026,539

職員給与費

3,178,064

67.0

58.7

67.7

材料費

791,468

16.7

26.9

18.3

(うち薬品費)

425,785

9.0

14.8

8.6

(うち薬品費以外の医薬材料費)

320,354

6.8

11.7

9.1

減価償却費

276,820

5.8

8.5

10.3

経費

767,302

16.2

21.5

29.4

(うち委託料)

413,041

8.7

11.5

13.6

研究研修費

11,255

資産減耗費

1,630

(2) 医業外費用

179,144

(うち支払利息)

18,428

0.4

0.9

1.1

(3) 特別損失

-

損益

経常損益

379,621

純損益

379,621

累積欠損金

-

経常収支比率

107.3

96.5

95.4

医業収支比率

94.4

86.0

79.1

修正医業収支比率

92.3

83.2

74.9

他会計繰入金対経常収益比率

6.3

11.5

17.0

他会計繰入金対医業収益比率

7.4

13.7

21.8

他会計繰入金対総収益比率

6.3

11.5

17.1

実質収益対経常費用比率

100.5

85.4

79.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円）

区分

決算額

資産合計

7,032,387

1 固定資産

4,391,011

(1) 有形固定資産

3,585,021

(2) 無形固定資産

-

(3) 投資その他の資産

805,990

2 流動資産

2,641,376

(1) 現金及び預金

1,988,328

(2) 未収金及び未収収益

637,001

(3) 貸倒引当金（）

2,399

(4) 貯蔵品

18,446

3 繰延資産

-

負債合計

4,360,490

1 固定負債

2,040,578

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

833,149

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

1,207,429

(6) リース債務

-

2 流動負債

996,709

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

311,820

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

231,580

(6) リース債務

-

(7) 一時借入金

-

(8) 未払金及び未払費用

431,127

(9) 前受金及び前受収益

-

3 繰延収益

1,323,203

(1) 長期前受金

2,647,532

(2) 長期前受金収益化累計額（）

1,324,329

(3) 繰延運営権対価

-

(4) 繰延運営権対価収益化累計額（）

-

(5) 運営権者更新投資

-

(6) 運営権者更新投資収益化累計額（）

-

資本合計

2,671,897

1 資本金

1,263,614

2 剰余金

1,408,283

(1) 資本金剰余金

12,498

(2) 利益剰余金

1,395,785

負債・資本合計

7,032,387

不良債務

-

実質資金不足額

-

資本不足額（）

-

資本不足額（繰延収益控除後）（）

-

備考

他会計からの繰入状況（千円）

区分

基準額

実繰入額

収益勘定繰入

495,829

352,960

資本勘定繰入

178,547

178,547

計

674,376

531,507

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度

不良債務額（千円）

不良債務比率（％）

令和5年度

-

-

令和4年度

-

-

令和3年度

-

-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（％）

-

健全化法上の資金不足額（千円）

-

健全化法上の資金不足比率（％）

-

地財法上の資金不足額（千円）

-

地財法上の資金不足比率（％）

-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		上田市			
病院名		上田市立産婦人科病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,033㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	27	-	11.8	32.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	27	-	11.8	32.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	4.4	5.5

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		771,393		
1 固定資産		707,901		
(1) 有形固定資産		707,830		
(2) 無形固定資産		71		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		63,492		
(1) 現金及び預金		60,982		
(2) 未収金及び未収収益		2,307		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		203		
3 繰延資産		-		
負債合計		685,192		
1 固定負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		5,333		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		5,333		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		679,859		
(1) 長期前受金		1,184,987		
(2) 長期前受金収益化累計額()		505,128		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		86,201		
1 資本金		155,212		
2 剰余金		-69,011		
(1) 資本剰余金		66,076		
(2) 利益剰余金		-135,087		
負債・資本合計		771,393		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,335	166,432
資本勘定繰入	85,603	164,439
計	87,938	330,871

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	553.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		岡谷市			
病院名		岡谷市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,543㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	266	78.0	73.6	74.3	
療養	25	83.0	77.7	75.8	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	49.0	72.8	33.4	
計	295	78.0	74.0	73.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	20.5	18.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				10,842,248	
1 固定資産				9,517,020	
(1) 有形固定資産				9,157,156	
(2) 無形固定資産				3,360	
(3) 投資その他の資産				356,504	
2 流動資産				1,325,228	
(1) 現金及び預金				264,610	
(2) 未収金及び未収収益				1,035,295	
(3) 貸倒引当金()				1,000	
(4) 貯蔵品				25,174	
3 繰延資産				-	
負債合計				11,641,459	
1 固定負債				6,875,720	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				5,239,204	
(2) その他の企業債				171,832	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,462,442	
(6) リース債務				2,242	
2 流動負債				2,522,460	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,687,497	
(2) その他の企業債				43,358	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				261,463	
(6) リース債務				4,700	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				488,817	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				2,243,279	
(1) 長期前受金				3,640,899	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,397,620	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-799,211	
1 資本金				1,226,920	
2 剰余金				-2,026,131	
(1) 資本剰余金				30,116	
(2) 利益剰余金				-2,056,247	
負債・資本合計				10,842,248	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				799,211	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	962,564	463,180
資本勘定繰入	308,340	308,100
計	1,270,904	771,280

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
長野県

市町村・組合名
飯田市

病院名
飯田市立病院

施設及び業務概況等

法適用区分
当然財務

特殊診療機能
ド透I未ガ

病院区分
一般病院

建物面積
36,376㎡

診療科数
32

許可公営企業
DPC対象病院

対象

看護配置
7:1

経営形態
直営

類似区分
400床以上～500床未満

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,935,214			
1 経常収益	13,934,674			
(1) 医業収益	12,780,618			
(うち修正医業収益)	12,501,526			
入院収益	8,332,666			
外来収益	3,662,565			
診療収入計	11,995,231			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	785,387			
(うち他会計負担金)	279,092			
(2) 医業外収益	1,154,056			
(うち国・都道府県補助金)	411,925			
(うち他会計補助・負担金)	589,292			
(うち長期前受金戻入)	73,751			
(うち資本費繰入収益)	15,234			
(3) 特別利益	540			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,530,780			
2 経常費用	14,530,780			
(1) 医業費用	13,927,841			
職員給与費	7,610,609	59.5	58.7	55.7
材料費	3,242,600	25.4	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,699,112	13.3	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,453,213	11.4	11.7	12.7
減価償却費	1,087,462	8.5	8.5	7.9
経費	1,910,583	14.9	21.5	18.1
(うち委託料)	976,202	7.6	11.5	10.0
研究研修費	50,842			
資産減耗費	25,745			
(2) 医業外費用	602,939			
(うち支払利息)	23,673	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-596,106		
	純損益	-595,566		
累積欠損金	569,249			
経常収支比率	95.9		96.5	97.5
医業収支比率	91.8		86.0	90.0
修正医業収支比率	89.8		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	6.2		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	89.9		85.4	88.1

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄

指定病院の状況欄

ド…人間ドック透…人工透析

ド…人間ドック透…人工透析

I…ICU・CCU

I…ICU・CCU

未…NICU・未熟児室

未…NICU・未熟児室

訓…運動機能訓練室

訓…運動機能訓練室

ガ…ガン（放射線）診療

ガ…ガン（放射線）診療

救…救急告示病院

救…救急告示病院

臨…臨床研修病院

臨…臨床研修病院

が…がん診療連携拠点病院

が…がん診療連携拠点病院

感…感染症指定医療機関

感…感染症指定医療機関

へ…へき地医療拠点病院

へ…へき地医療拠点病院

災…災害拠点病院

災…災害拠点病院

地…地域医療支援病院

地…地域医療支援病院

特…特定機能病院

特…特定機能病院

輪…病院群輪番制病院

輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

403

77.4

74.0

77.1

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

-

-

-

-

感染症

4

-

-

-

計

407

76.6

73.2

76.4

平均在院日数(一般病床のみ)

11.0

10.7

10.7

貸借対照表

(千円)

区分	決算額
資産合計	22,938,396
1 固定資産	15,581,303
(1) 有形固定資産	15,009,495
(2) 無形固定資産	61,423
(3) 投資その他の資産	510,385
2 流動資産	7,357,093
(1) 現金及び預金	5,162,038
(2) 未収金及び未収収益	2,150,983
(3) 貸倒引当金()	3,662
(4) 貯蔵品	47,734
3 繰延資産	-
負債合計	12,339,488
1 固定負債	8,539,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,935,381
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,603,220
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,000,647
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,276,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	911,003
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	471,080
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,889,786
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	523,654
(1) 長期前受金	1,240,592
(2) 長期前受収益化累計額()	716,938
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,598,908
1 資本金	11,142,771
2 剰余金	-543,863
(1) 資本金剰余金	25,386
(2) 利益剰余金	-569,249
負債・資本合計	22,938,396
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)

区分

基準額

実績入額

収益勘定繰入

868,384

868,384

資本勘定繰入

350,823

350,734

計

1,219,207

1,219,118

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度

不良債務額(千円)

不良債務比率(%)

令和5年度

-

-

令和4年度

-

-

令和3年度

-

-

資金不足等の状況

累積欠損金比率(%)

4.5

健全化法上の資金不足額(千円)

-

健全化法上の資金不足比率(%)

-

地財法上の資金不足額(千円)

-

地財法上の資金不足比率(%)

-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		大町市			
病院名		大町総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,380㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	147	86.4	83.1	81.7	
療養	48	89.6	81.5	90.1	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	2.7	30.1	16.9	
計	199	85.5	81.7	82.4	
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.4	11.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				6,773,966	
1 固定資産				4,949,742	
(1) 有形固定資産				4,566,946	
(2) 無形固定資産				42,774	
(3) 投資その他の資産				340,022	
2 流動資産				1,824,224	
(1) 現金及び預金				985,151	
(2) 未収金及び未収収益				811,609	
(3) 貸倒引当金()				1,220	
(4) 貯蔵品				28,684	
3 繰延資産				-	
負債合計				6,232,212	
1 固定負債				2,671,761	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				692,299	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				617,000	
(5) 引当金				1,357,751	
(6) リース債務				4,711	
2 流動負債				1,000,607	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				439,887	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				50,000	
(5) 引当金				159,447	
(6) リース債務				2,932	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				315,557	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				2,559,844	
(1) 長期前受金				6,501,698	
(2) 長期前受金収益化累計額()				3,941,854	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				541,754	
1 資本金				691,217	
2 剰余金				-149,463	
(1) 資本剰余金				609,092	
(2) 利益剰余金				-758,555	
負債・資本合計				6,773,966	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	490,128	490,184
資本勘定繰入	298,490	309,816
計	788,618	800,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		佐久市			
病院名		国保浅間総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,687㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	238	75.4	74.5	79.1	
療養	-	-	39.1	56.5	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	238	75.4	69.4	75.9	
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	15.0	14.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				8,622,032	
1 固定資産				7,443,047	
(1) 有形固定資産				7,408,934	
(2) 無形固定資産				2,594	
(3) 投資その他の資産				31,519	
2 流動資産				1,178,985	
(1) 現金及び預金				168,382	
(2) 未収金及び未収収益				985,960	
(3) 貸倒引当金()				1,670	
(4) 貯蔵品				15,069	
3 繰延資産				-	
負債合計				9,758,645	
1 固定負債				6,854,750	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,632,141	
(2) その他の企業債				8,298	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,967,941	
(6) リース債務				246,370	
2 流動負債				1,251,069	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				406,820	
(2) その他の企業債				379	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				250,421	
(6) リース債務				112,780	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				433,716	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,652,826	
(1) 長期前受金				6,087,923	
(2) 長期前受金収益化累計額()				4,435,097	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-1,136,613	
1 資本金				1,165,104	
2 剰余金				-2,301,717	
(1) 資本剰余金				114,441	
(2) 利益剰余金				-2,416,158	
負債・資本合計				8,622,032	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				1,136,613	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	746,087	757,567
資本勘定繰入	308,549	280,549
計	1,054,636	1,038,116

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		東御市			
病院名		東御市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,858㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	60	73.8	62.1	72.8	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	60	73.8	62.1	72.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	18.7	22.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,177,012	
1 固定資産				2,612,352	
(1) 有形固定資産				2,612,080	
(2) 無形固定資産				272	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				564,660	
(1) 現金及び預金				321,225	
(2) 未収金及び未収収益				220,000	
(3) 貸倒引当金()				1,000	
(4) 貯蔵品				24,435	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,950,720	
1 固定負債				1,221,495	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,221,495	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				663,544	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				199,674	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				54,320	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				409,539	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				65,681	
(1) 長期前受金				95,336	
(2) 長期前受金収益化累計額()				29,655	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,226,292	
1 資本金				925,743	
2 剰余金				300,549	
(1) 資本金剰余金				-	
(2) 利益剰余金				300,549	
負債・資本合計				3,177,012	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	195,077	195,077
資本勘定繰入	49,474	49,474
計	244,551	244,551

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,062,607				
1 経常収益	2,062,607				
(1) 医業収益	1,723,880				
(うち修正医業収益)	1,685,889				
入院収益	615,704				
外来収益	863,518				
診療収入計	1,479,222				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	244,658				
(うち他会計負担金)	37,991				
(2) 医業外収益	338,727				
(うち国・都道府県補助金)	106,899				
(うち他会計補助・負担金)	157,086				
(うち長期前受金戻入)	11,906				
(うち資本費繰入収益)	49,474				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,076,497				
2 経常費用	2,076,497				
(1) 医業費用	1,966,072				
職員給与費	1,067,008	61.9	58.7	78.7	
材料費	246,445	14.3	26.9	14.5	
(うち薬品費)	115,407	6.7	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,927	6.8	11.7	6.1	
減価償却費	180,111	10.4	8.5	11.8	
経費	467,935	27.1	21.5	32.3	
(うち委託料)	273,169	15.8	11.5	15.3	
研究研修費	2,714				
資産減耗費	1,859				
(2) 医業外費用	110,425				
(うち支払利息)	13,522	0.8	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-13,890			
	純損益	-13,890			
累積欠損金	-				
経常収支比率	99.3		96.5	96.4	
医業収支比率	87.7		86.0	72.4	
修正医業収支比率	85.7		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	9.5		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	89.9		85.4	73.0	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		佐久穂町			
病院名		佐久穂町立千曲病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,183㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
D P C対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	52	86.0	81.4	78.1	
療養	27	72.2	81.3	82.0	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	79	80.1	81.3	79.9	
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.7	13.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,935,503	
1 固定資産				1,575,163	
(1) 有形固定資産				1,489,629	
(2) 無形固定資産				42,170	
(3) 投資その他の資産				43,364	
2 流動資産				360,340	
(1) 現金及び預金				123,480	
(2) 未収金及び未収収益				225,421	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				11,439	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,669,336	
1 固定負債				1,167,215	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				781,012	
(2) その他の企業債				92,994	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				292,051	
(6) リース債務				1,158	
2 流動負債				335,374	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				182,348	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				68,585	
(6) リース債務				694	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				74,920	
(9) 前受金及び前受収益				8,827	
3 繰延収益				166,747	
(1) 長期前受金				906,762	
(2) 長期前受金収益化累計額()				740,015	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				266,167	
1 資本金				638,185	
2 剰余金				-372,018	
(1) 資本金剰余金				109	
(2) 利益剰余金				-372,127	
負債・資本合計				1,935,503	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	262,477	262,477
資本勘定繰入	81,834	81,834
計	344,311	344,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,767,627				
1 経常収益	1,766,679				
(1) 医業収益	1,432,552				
(うち修正医業収益)	1,368,411				
入院収益	741,249				
外来収益	367,956				
診療収入計	1,109,205				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	323,347				
(うち他会計負担金)	64,141				
(2) 医業外収益	334,127				
(うち国・都道府県補助金)	37,319				
(うち他会計補助・負担金)	198,336				
(うち長期前受金戻入)	88,423				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	948				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,771,651				
2 経常費用	1,771,551				
(1) 医業費用	1,714,993				
職員給与費	1,148,409	80.2	58.7	78.7	
材料費	147,516	10.3	26.9	14.5	
(うち薬品費)	47,886	3.3	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	79,746	5.6	11.7	6.1	
減価償却費	179,395	12.5	8.5	11.8	
経費	232,942	16.3	21.5	32.3	
(うち委託料)	101,065	7.1	11.5	15.3	
研究研修費	5,100				
資産減耗費	1,631				
(2) 医業外費用	56,558				
(うち支払利息)	4,348	0.3	0.9	1.1	
(3) 特別損失	100				
損益	経常損益	-4,872			
	純損益	-4,024			
累積欠損金	372,127				
経常収支比率	99.7		96.5	96.4	
医業収支比率	83.5		86.0	72.4	
修正医業収支比率	79.8		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	18.3		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	14.8		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	84.9		85.4	73.0	

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		軽井沢町			
病院名		国保軽井沢病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,442㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	79	63.0	63.4	68.9	
療養	24	79.3	73.8	60.8	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	103	66.8	65.8	67.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.9	20.4	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				2,619,658	
1 固定資産				2,059,737	
(1) 有形固定資産				2,059,737	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				559,921	
(1) 現金及び預金				282,657	
(2) 未収金及び未収収益				257,995	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				19,269	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,964,373	
1 固定負債				1,058,024	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				942,373	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				83,340	
(6) リース債務				32,311	
2 流動負債				439,141	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				156,862	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				86,085	
(6) リース債務				11,356	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				184,838	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				467,208	
(1) 長期前受金				984,559	
(2) 長期前受金収益化累計額()				517,351	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				655,285	
1 資本金				525,143	
2 剰余金				130,142	
(1) 資本剰余金				505,429	
(2) 利益剰余金				-375,287	
負債・資本合計				2,619,658	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	564,456	590,000
資本勘定繰入	170,897	120,980
計	735,353	710,980

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	16,306	1.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：	「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		辰野町			
病院名		辰野病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,882㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	100	72.4	80.6	79.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	72.4	80.6	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	18.6	18.0

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		2,693,464		
1 固定資産		2,374,300		
(1) 有形固定資産		2,330,481		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		43,819		
2 流動資産		319,164		
(1) 現金及び預金		106,144		
(2) 未収金及び未収収益		191,464		
(3) 貸倒引当金()		108		
(4) 貯蔵品		21,160		
3 繰延資産		-		
負債合計		2,131,231		
1 固定負債		1,357,570		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,301,470		
(2) その他の企業債		52,000		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		4,100		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		270,876		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		92,065		
(2) その他の企業債		26,000		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		85,473		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		66,300		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		502,785		
(1) 長期前受金		855,940		
(2) 長期前受金収益化累計額()		353,155		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		562,233		
1 資本金		597,878		
2 剰余金		-35,645		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-35,645		
負債・資本合計		2,693,464		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	391,040	338,980
資本勘定繰入	56,020	56,020
計	447,060	395,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,220,975			
1 経常収益	2,220,975			
(1) 医業収益	1,764,898			
(うち修正医業収益)	1,689,483			
入院収益	889,664			
外来収益	710,081			
診療収入計	1,599,745			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	165,153			
(うち他会計負担金)	75,415			
(2) 医業外収益	456,077			
(うち国・都道府県補助金)	48,259			
(うち他会計補助・負担金)	263,565			
(うち長期前受金戻入)	26,135			
(うち資本費繰入収益)	46,020			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,340,632			
2 経常費用	2,340,632			
(1) 医業費用	2,267,486			
職員給与費	1,274,346	72.2	58.7	67.7
材料費	286,682	16.2	26.9	18.3
(うち薬品費)	152,614	8.6	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	109,334	6.2	11.7	9.1
減価償却費	149,641	8.5	8.5	10.3
経費	550,416	31.2	21.5	29.4
(うち委託料)	295,826	16.8	11.5	13.6
研究研修費	2,751			
資産減耗費	3,650			
(2) 医業外費用	73,146			
(うち支払利息)	624	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-119,657		
	純損益	-119,657		
累積欠損金	35,645			
経常収支比率	94.9		96.5	95.4
医業収支比率	77.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	74.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	15.3		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	80.4		85.4	79.2

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		信濃町			
病院名		信越病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,064 ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
D P C対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	47	46.4	47.2	50.1	
療養	50	46.1	59.3	65.5	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	97	46.2	53.5	58.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	18.0	16.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				2,062,295	
1 固定資産				1,789,659	
(1) 有形固定資産				1,789,513	
(2) 無形固定資産				146	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				272,636	
(1) 現金及び預金				103,914	
(2) 未収金及び未収収益				164,412	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				4,310	
3 繰延資産				-	
負債合計				2,061,677	
1 固定負債				1,619,140	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,240,599	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				374,457	
(6) リース債務				4,084	
2 流動負債				221,963	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				96,563	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				60,806	
(6) リース債務				4,208	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				59,342	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				220,574	
(1) 長期前受金				653,189	
(2) 長期前受金収益化累計額()				432,615	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				618	
1 資本金				1,271,914	
2 剰余金				-1,271,296	
(1) 資本剰余金				33,751	
(2) 利益剰余金				-1,305,047	
負債・資本合計				2,062,295	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	349,699	349,699
資本勘定繰入	25,500	46,104
計	375,199	395,803

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	137.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		飯綱町			
病院名		飯綱町立飯綱病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,246㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄		ド…人間ドック		透…人工透析		I…ICU・CCU		未…NICU・未熟児室		訓…運動機能訓練室		ガ…ガン(放射線)診療	
指定病院の状況欄		救…救急告示病院		臨…臨床研修病院		が…がん診療連携拠点病院		感…感染症指定医療機関		へ…へき地医療拠点病院		災…災害拠点病院	
		地…地域医療支援病院		特…特定機能病院		輪…病院群輪番制病院							

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	110	54.3	56.4	78.7
療養	51	56.1	67.1	20.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	54.9	59.8	60.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	22.3	18.6

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		2,046,656		
1 固定資産		1,747,358		
(1) 有形固定資産		1,730,115		
(2) 無形固定資産		400		
(3) 投資その他の資産		16,843		
2 流動資産		299,298		
(1) 現金及び預金		15,813		
(2) 未収金及び未収収益		245,880		
(3) 貸倒引当金()		719		
(4) 貯蔵品		37,305		
3 繰延資産		-		
負債合計		2,338,150		
1 固定負債		1,509,396		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,212,028		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		297,368		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		394,088		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		223,387		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		66,928		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		94,450		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		434,666		
(1) 長期前受金		2,369,997		
(2) 長期前受金収益化累計額()		1,935,331		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-291,494		
1 資本金		14,932		
2 剰余金		-306,426		
(1) 資本剰余金		26,024		
(2) 利益剰余金		-332,450		
負債・資本合計		2,046,656		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		291,494		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,226,450			
1 経常収益	2,226,450			
(1) 医業収益	1,704,434			
(うち修正医業収益)	1,545,177			
入院収益	872,324			
外来収益	583,492			
診療収入計	1,455,816			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	248,618			
(うち他会計負担金)	159,257			
(2) 医業外収益	522,016			
(うち国・都道府県補助金)	34,632			
(うち他会計補助・負担金)	364,738			
(うち長期前受金戻入)	112,645			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,186,931			
2 経常費用	2,186,931			
(1) 医業費用	2,084,610			
職員給与費	1,004,020	58.9	58.7	67.7
材料費	226,571	13.3	26.9	18.3
(うち薬品費)	80,819	4.7	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	122,382	7.2	11.7	9.1
減価償却費	117,004	6.9	8.5	10.3
経費	725,442	42.6	21.5	29.4
(うち委託料)	278,528	16.3	11.5	13.6
研究研修費	3,205			
資産減耗費	8,368			
(2) 医業外費用	102,321			
(うち支払利息)	22,699	1.3	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	39,519		
	純損益	39,519		
累積欠損金	332,450			
経常収支比率	101.8		96.5	95.4
医業収支比率	81.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	74.1		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	23.5		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	30.7		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	23.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	77.8		85.4	79.2

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,308	523,995
資本勘定繰入	133,468	133,468
計	382,776	657,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	19.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		伊那中央行政組合（事業会計分）			
病院名		伊那中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	39,114㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	390	79.4	78.4	71.5	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	25.3	22.9	48.1	
計	394	78.9	77.8	71.2	
平均在院日数（一般病床のみ）		12.9	13.0	12.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				23,085,996	
1 固定資産				16,502,129	
(1) 有形固定資産				14,702,129	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				1,800,000	
2 流動資産				6,583,867	
(1) 現金及び預金				4,162,745	
(2) 未収金及び未収収益				2,353,048	
(3) 貸倒引当金（ ）				2,303	
(4) 貯蔵品				70,358	
3 繰延資産				-	
負債合計				11,702,055	
1 固定負債				8,288,503	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				5,402,589	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,885,914	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,826,000	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,191,569	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				492,526	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				1,057,881	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				587,552	
(1) 長期前受金				1,202,328	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）				614,776	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）				-	
資本合計				11,383,941	
1 資本金				16,126,910	
2 剰余金				-4,742,969	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-4,742,969	
負債・資本合計				23,085,996	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額（ ）				-	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,198,172	745,409
資本勘定繰入	765,967	765,967
計	1,964,139	1,511,376

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名		伊南行政組合			
病院名		昭和伊南総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,682㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄		ド…人間ドック		透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄		救…救急告示病院		臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
		地…地域医療支援病院		特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	300	59.8	59.4	60.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	59.8	59.4	60.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	13.3	13.4

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		8,251,250		
1 固定資産		3,888,999		
(1) 有形固定資産		2,371,032		
(2) 無形固定資産		1,487		
(3) 投資その他の資産		1,516,480		
2 流動資産		4,362,251		
(1) 現金及び預金		3,256,810		
(2) 未収金及び未収収益		1,039,081		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		66,360		
3 繰延資産		-		
負債合計		3,859,637		
1 固定負債		2,476,675		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		629,781		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		1,846,894		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		944,015		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		299,976		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		213,691		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		398,399		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		438,947		
(1) 長期前受金		4,430,179		
(2) 長期前受金収益化累計額()		3,991,232		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		4,391,613		
1 資本金		35,118		
2 剰余金		4,356,495		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		4,356,495		
負債・資本合計		8,251,250		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	532,319	532,319
資本勘定繰入	157,637	157,637
計	689,956	689,956

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。				
---	--	--	--	--

